

外部評価軽減要件確認票

事業所番号	2373001375
事業所名	グループホームあさがお

【重点項目への取組状況】

重点項目①	事業所と地域とのつきあい（外部評価項目：2） 自治会に加入。 地域情報を、推進会議時に得ながら、盆踊り、地域のパトロールに参加している。 施設の夏祭りには、地元地域にお知らせを行い、地域住民の参加を得ている。 福祉拠点の発信や、地元消防団との連携等、地域との連携強化を行っている。	評価 ○
重点項目②	運営推進会議を活かした取組み（外部評価項目：3） 家族、日信会役員、民生委員、地域包括支援センターなどの構成で、議題の中間計画、運営の状況の報告等行い、意見、要望の収集がある。 推進会議を、「ファミリー会」と称し、自治区の事業に組み入れる等の取組みがある。 職員の研修参加状況の報告、介護保険制度の説明など多岐にわたる、報告、運営体制の説明等行い、意見の反映の中での運営体制の向上に繋げている。	評価 ○
重点項目③	市町村との連携（外部評価項目：4） 市役所とは、随時、必要に応じ、相談報告を行い、連携している。 認知症サポーター講習での講師を行う等、地域包括支援センターとの連携、協力で、地域福祉への取組み、徘徊模擬訓練での説明会など行政との連携事業を行って、地域の介護相談などの受け入れを行っている。	評価 ○
重点項目④	運営に関する利用者、家族等意見の反映（外部評価項目：6） 入居者の意見要望は、日ごろのケアの中から吸い上げ、担当者は、毎月、面会時又は電話などで、家族との情報共有を行っている。 「おたよりを」法人全体では年2回、施設では、同一場所の小規模多機能事業所と合同で、毎月発行し、日常の状況報告や、取組みを知らせ、家族などに状況把握をしやすい努力がある。職員、も情報共有しケアの向上に役立っている。	評価 ○
重点項目⑤	その他軽減措置要件	評価
	○「自己評価及び外部評価」及び「目標達成計画」を市町村に提出している。	○
	○運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されている。	○
	○運営推進会議に市町村職員等が必ず出席している。	○
総合評価		○

1. 外部評価軽減要件

- ① 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」及び「2 目標達成計画」を市町村に提出していること。
- ② 運営推進会議が、過去1年間に6回以上開催されていること。
- ③ 運営推進会議に、事業所の存する市町村職員又は地域包括支援センターの職員が必ず出席していること。
- ④ 別紙4の「1 自己評価及び外部評価」のうち、外部評価項目の2、3、4、6の実践状況（外部評価）が適切であること。

2. 外部評価軽減要件④における県の考え方について

外部評価項目	認 事 項
2. 事業所と地域のつきあい	(例示) ① 自治会、老人クラブ、婦人会、子ども会、保育園、幼稚園、小学校、消防団などの地域に密着した団体との交流会を実施している。 ② 地域住民を対象とした講習会を開催若しくはその講習会の講師を派遣し、認知症への理解を深めてもらう活動を行っている。
3. 運営推進会議を活かした取組み	(例示) ① 運営基準第85条の規定どおりに運用されている。 ② 運営推進会議で出された意見等について、実現に向けた取組みを行っている。
4. 市町村との連携	(例示) ① 運営推進会議以外に定期的な情報交換等を行っている。 ② 市町村主催のイベント、又は、介護関係の講習会等に参画している。
6. 運営に関する利用者、家族等意見の反映	(例示) ① 家族会を定期的（年2回以上）に開催している。 ② 利用者若しくは家族の苦情、要望等を施設として受け止める仕組みがあり、その改善等に努めている。 ③ 家族向けのホーム便り等が定期的（年2回以上）に発行されている。

【過去の軽減要件確認状況】

実施年度	21年度	22年度	23年度	24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度
総合評価	—	—	—	—	—	—	○				